

# 事業（環境影響評価書及び埋立承認願書） の概要

平成26年4月11日

沖縄防衛局

# 1. 普天間飛行場代替施設建設事業の概要(1)

## 【事業の内容】

### ●事業者の名称

沖縄防衛局

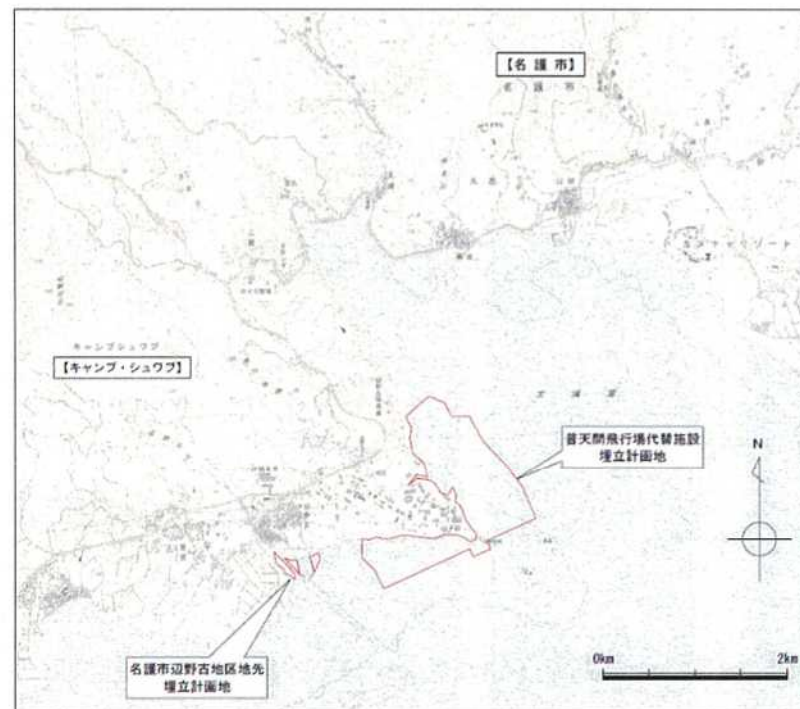
### ●対象事業の種類

飛行場及びその施設の設置

公有水面の埋立て

### ●事業実施区域の位置

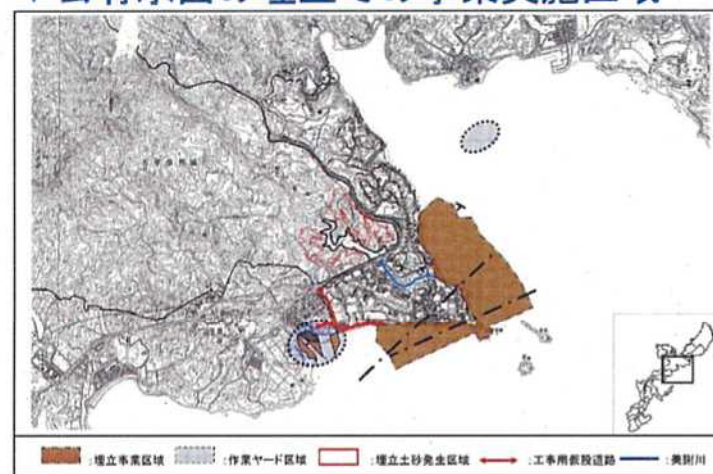
名護市辺野古沿岸域



## ▼飛行場及びその施設の設置の事業実施区域



## ▼公有水面の埋立ての事業実施区域

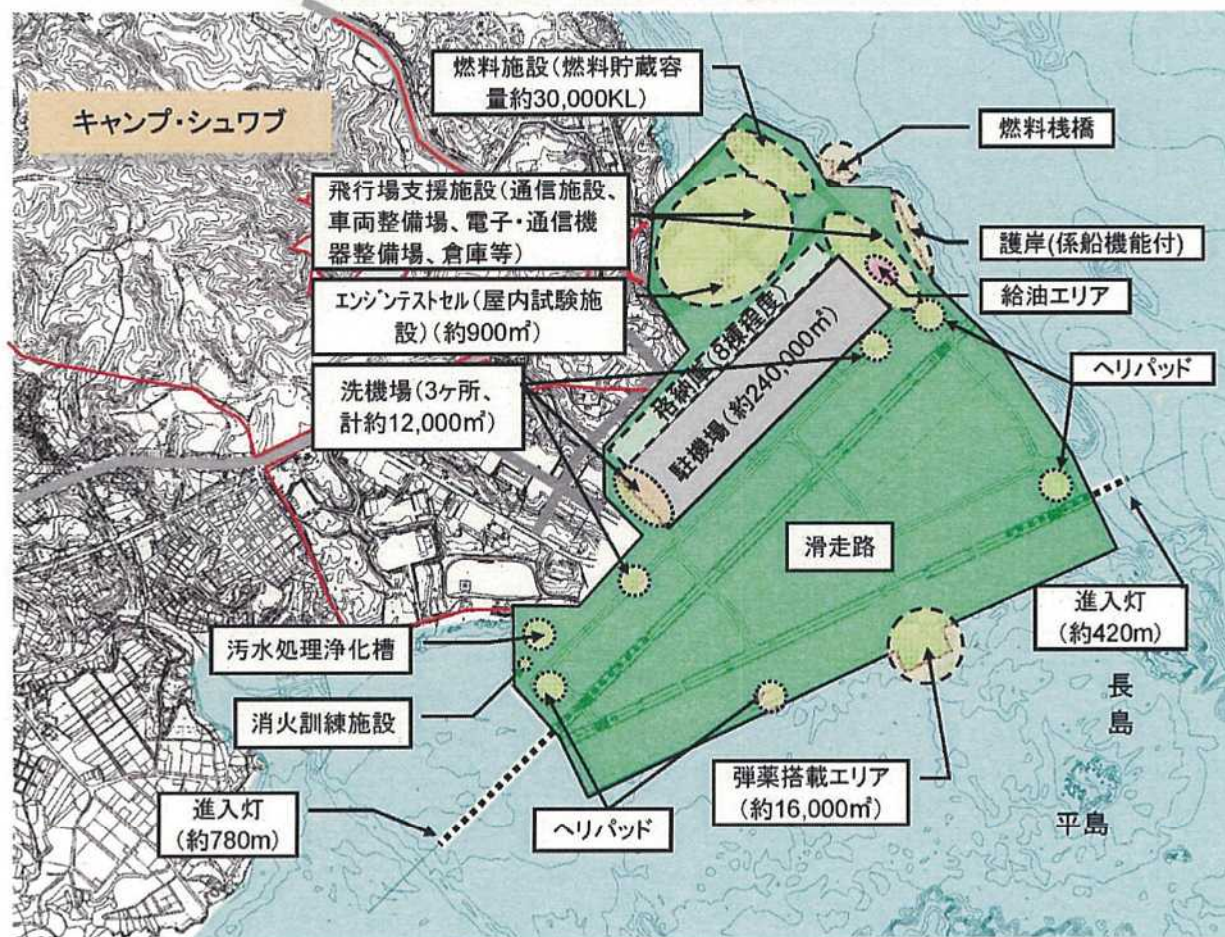


# 1. 普天間飛行場代替施設建設事業の概要(2)

## 【事業の内容】

### ● 飛行場の配置計画

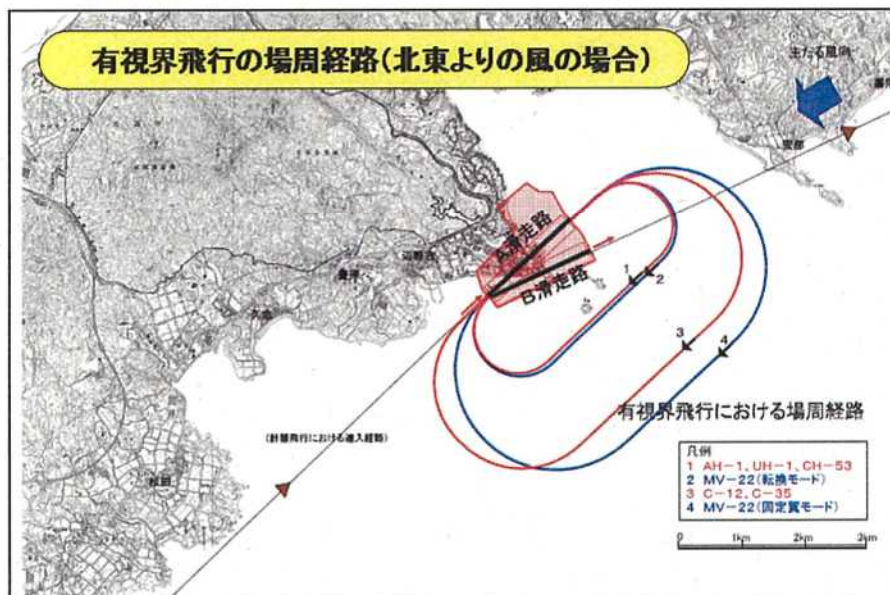
#### 飛行場施設の配置計画



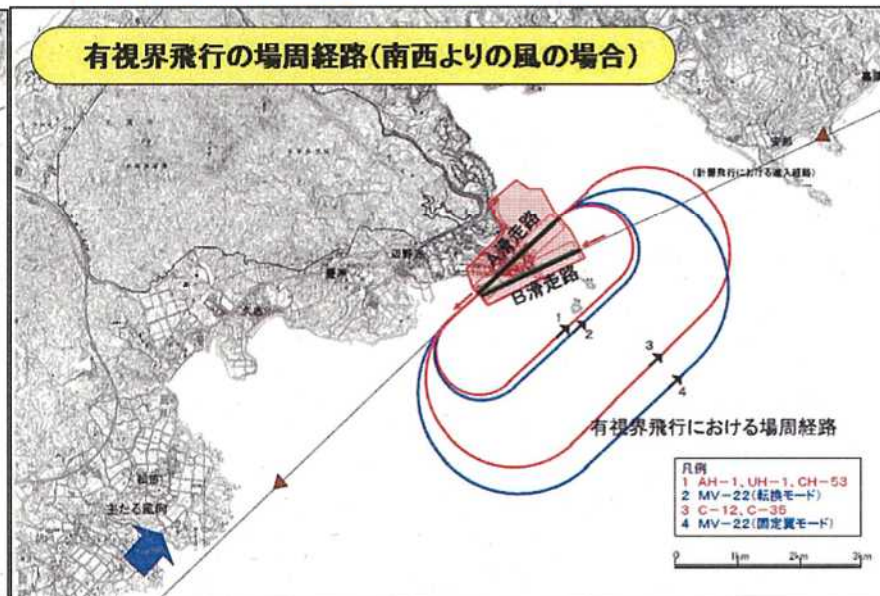
# 1. 普天間飛行場代替施設建設事業の概要(3)

## ● 飛行経路

### ▼ 飛行経路(北東よりの風の場合)



### ▼ 飛行経路(南西よりの風の場合)



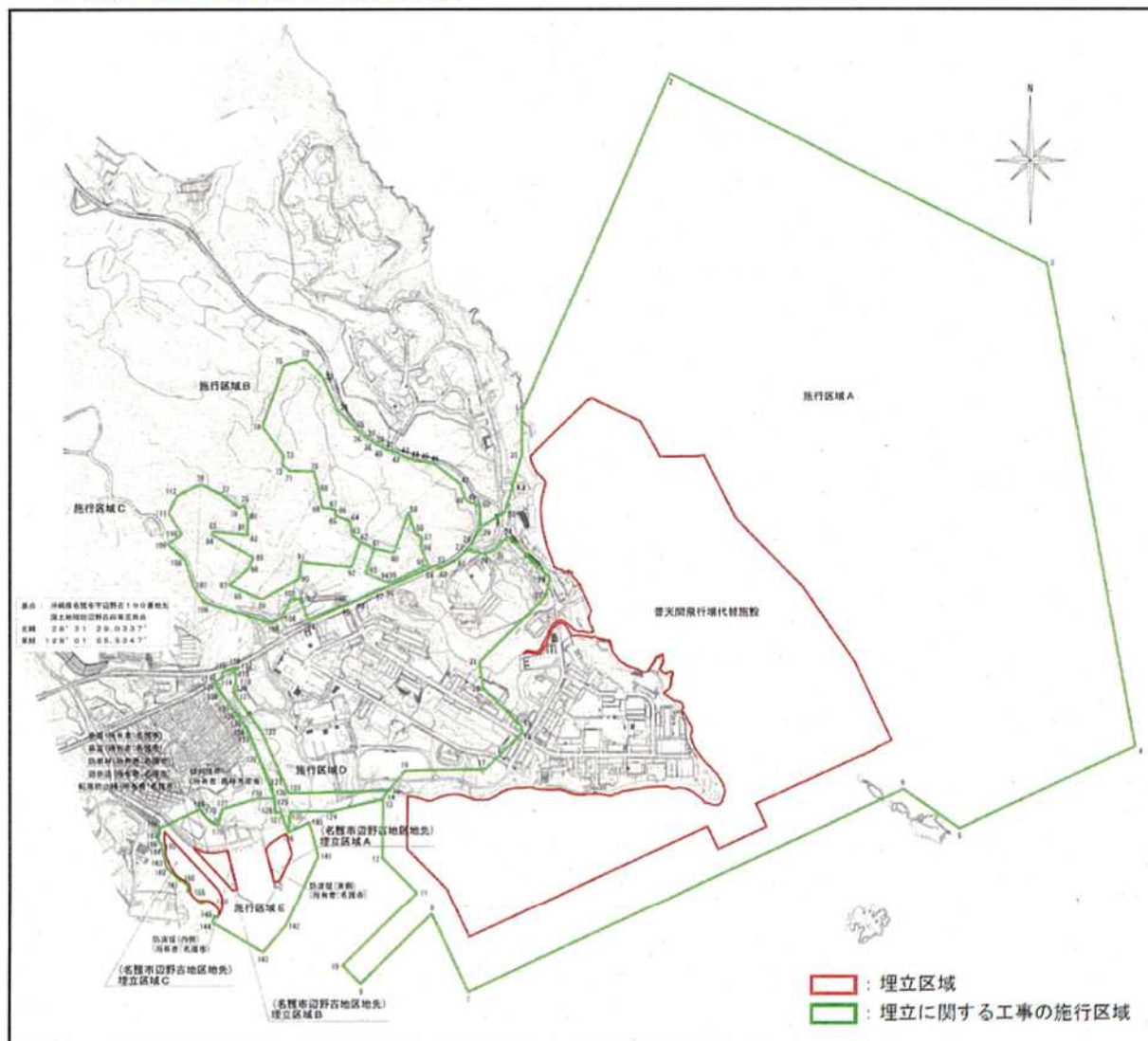
## ● 航空機の種類

回転翼機としてCH-53、UH-1、AH-1、ティルトローター機として平成23年6月に米国防省からCH-46の後継機として沖縄配備が発表されたMV-22、固定翼機としてC-35、C-12、その他(C-20等)

# 1. 普天間飛行場代替施設建設事業の概要(4)

## 【埋立区域・施行区域の面積及び埋立地の用途等】

### ▼埋立区域及び施行区域



### ▼埋立区域及び施行区域の面積

埋立区域合計	1,571,328.93m <sup>2</sup>
普天間飛行場代替施設	1,525,434.31m <sup>2</sup>
名護市辺野古地区地先	
埋立区域A	11,848.26m <sup>2</sup>
埋立区域B	10,563.97m <sup>2</sup>
埋立区域C	23,482.39m <sup>2</sup>

施行区域合計	6,963,482.71m <sup>2</sup>
施行区域A	6,203,217.61m <sup>2</sup>
施行区域B	295,396.30m <sup>2</sup>
施行区域C	176,712.43m <sup>2</sup>
施行区域D	56,475.22m <sup>2</sup>
施行区域E	231,681.15m <sup>2</sup>

### ▼埋立地の用途

用途名	配置	規模
飛行場用地	普天間飛行場代替施設の建設に供する埋立地で、計画地の北東側に位置する。	約 152.5ha
普天間飛行場代替施設建設のための造成用地	普天間飛行場代替施設の作業ヤードに供する埋立地で、計画地の南西側に位置する。	約 4.6ha

# 1. 普天間飛行場代替施設建設事業の概要(5)

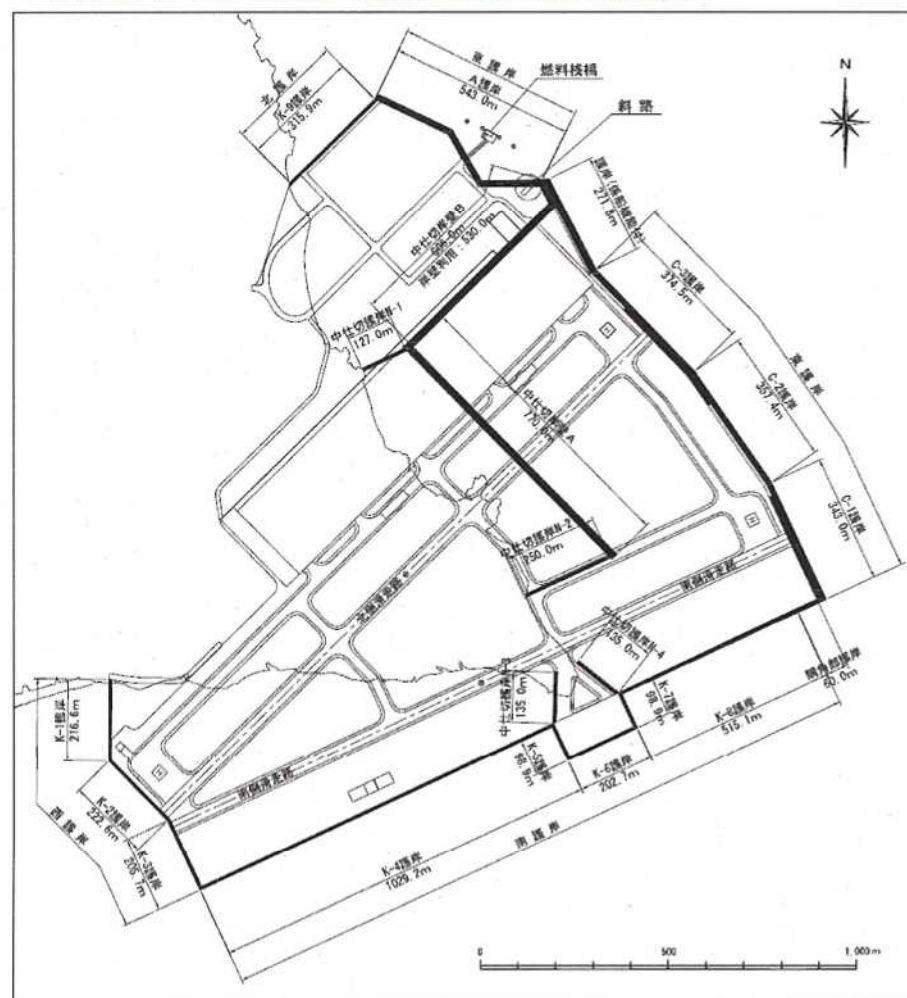
## 【護岸等の工作物の種類及び構造】

### ● 普天間飛行場代替施設

#### ▼ 護岸等の工作物の種類及び構造

区分	工作物名	構造形式
西側護岸	K-1~3護岸	捨石式傾斜堤
南側護岸	K-4~8護岸	同上
北側護岸	K-9護岸	捨石式傾斜堤
東側護岸	C-1~3護岸	スリットケーソン式
	隅角部護岸	ケーソン式
	A護岸	二重鋼管矢板式
斜路	斜路	二重鋼管矢板式
仮設護岸	中仕切護岸	捨石式傾斜堤
仮設岸壁	中仕切岸壁	二重鋼管矢板式

#### ▼ 護岸等の工作物の配置及び施行延長



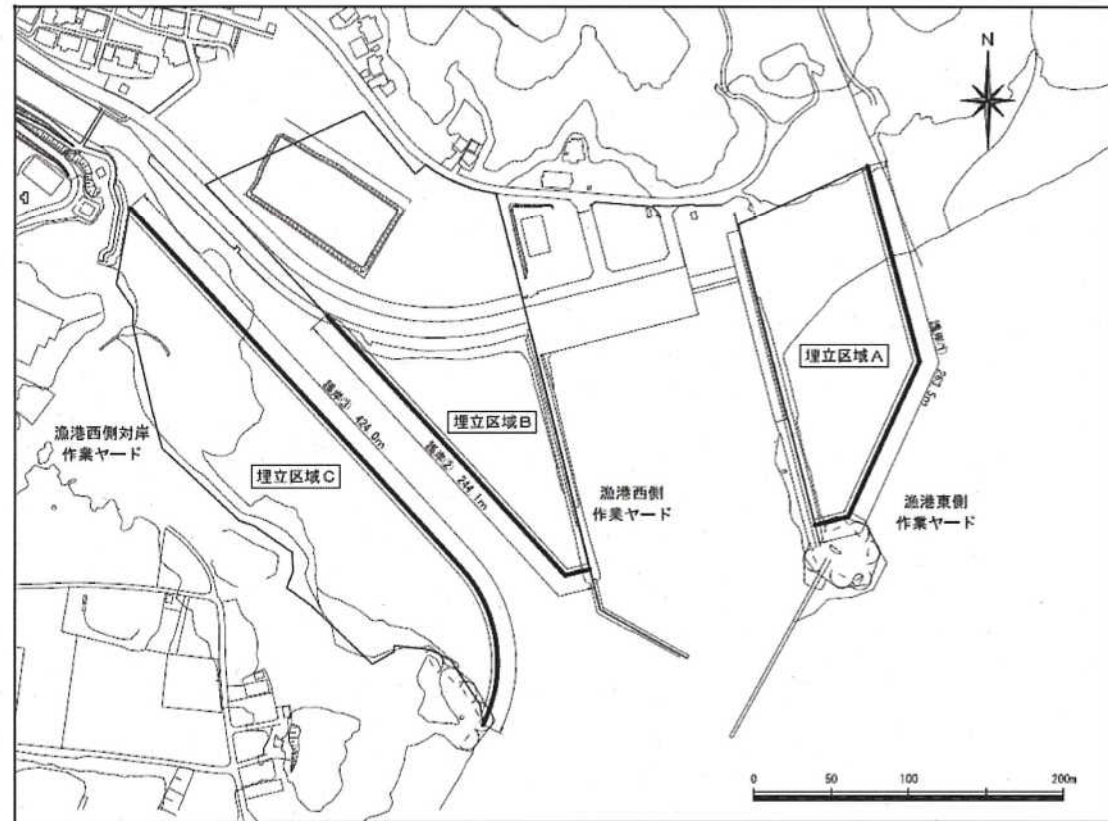
# 1. 普天間飛行場代替施設建設事業の概要(6)

## ●名護市辺野古地区地先

### ▼護岸等の工作物の種類及び構造

区分	工作物名	構造形式
埋立区域A	護岸①	捨石式傾斜堤
埋立区域B	護岸②	同上
埋立区域C	護岸③	同上

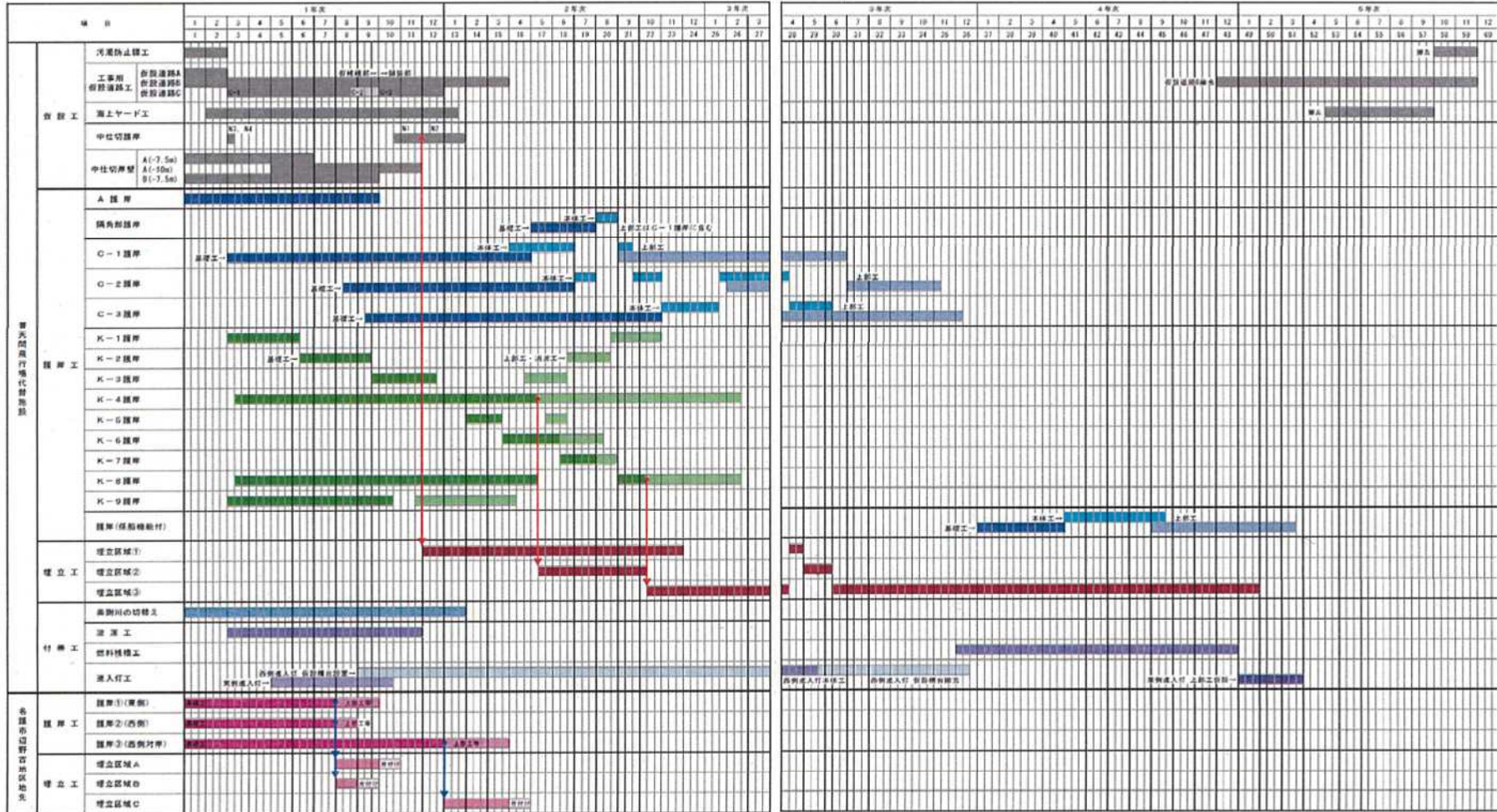
### ▼護岸等の工作物の配置及び施行延長



# 1. 普天間飛行場代替施設建設事業の概要(7)

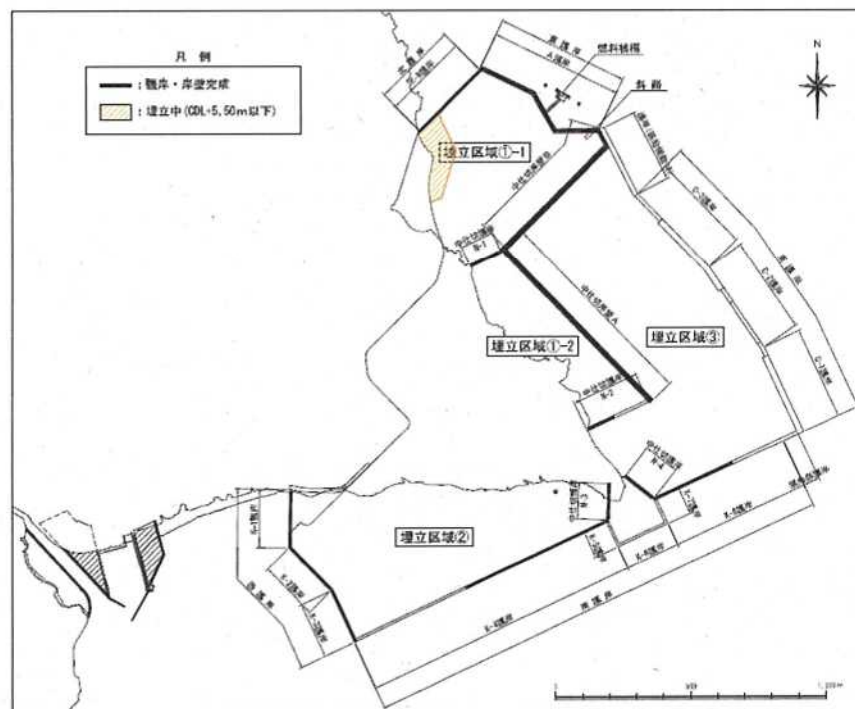
## 【埋立に関する工事の施行順序】

### ●埋立に関する工事の工程表

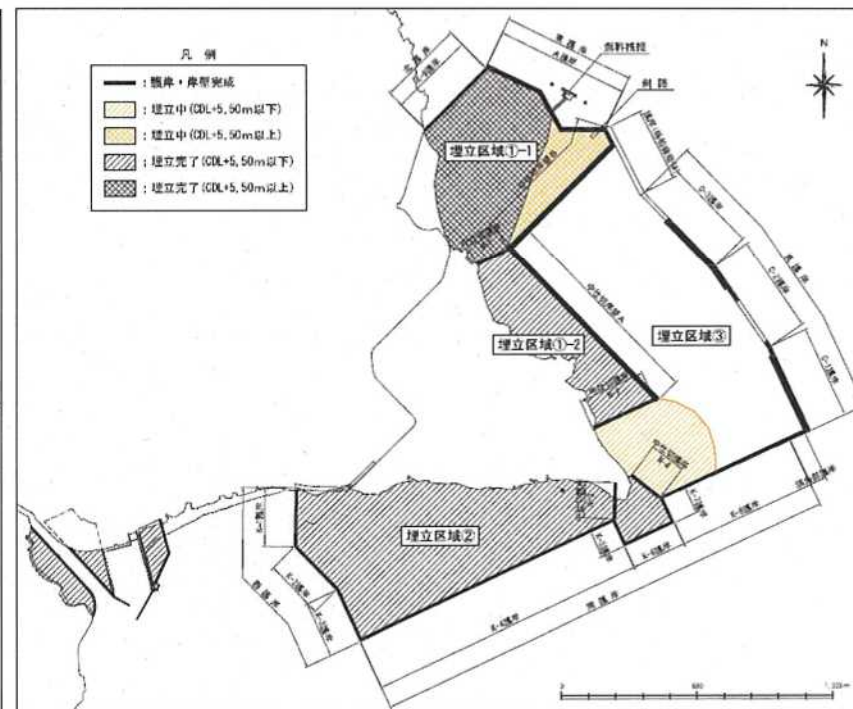


# 1. 普天間飛行場代替施設建設事業の概要(8)

## ●埋立進捗状況図

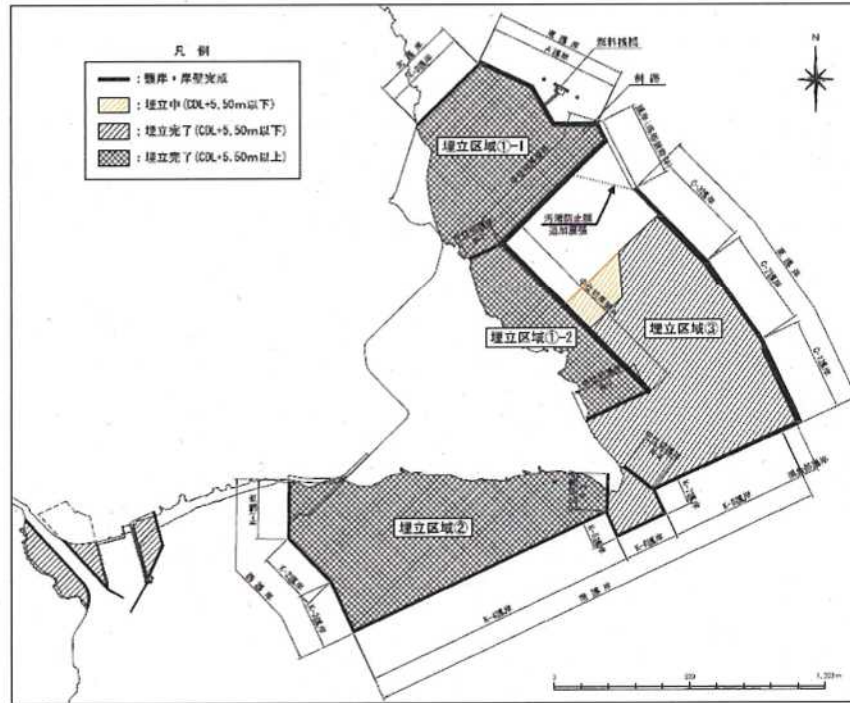


埋立進捗状況図(1年次12ヶ月目)

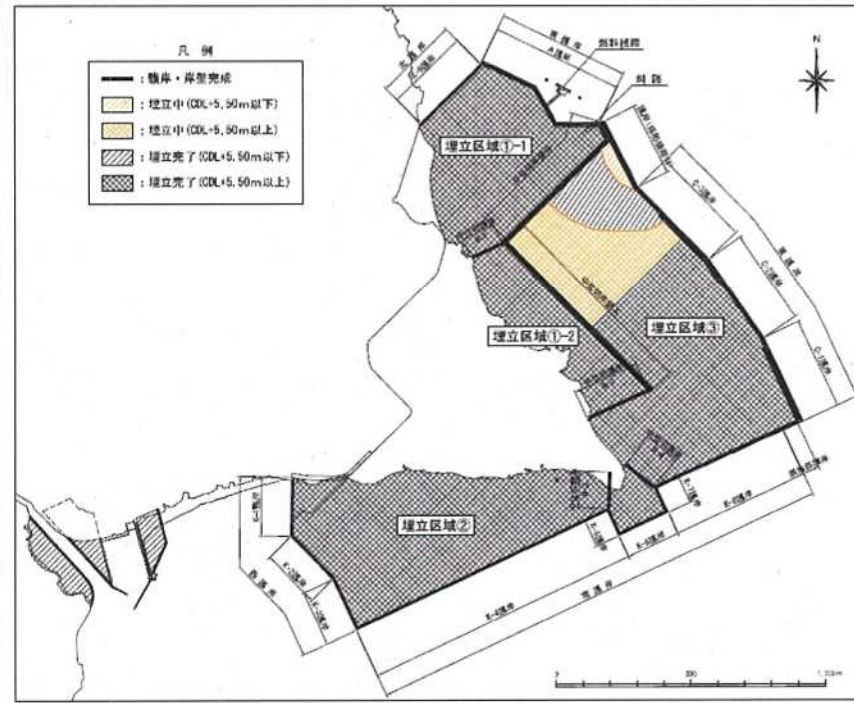


埋立進捗状況図(2年次12ヶ月目)

# 1. 普天間飛行場代替施設建設事業の概要(9)

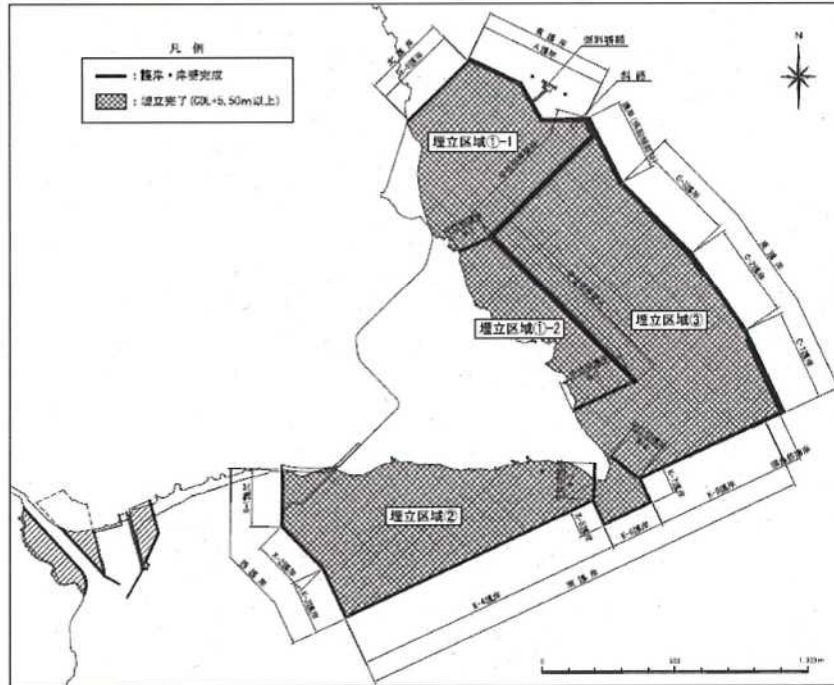


埋立進捗状況図(3年次12ヶ月目)

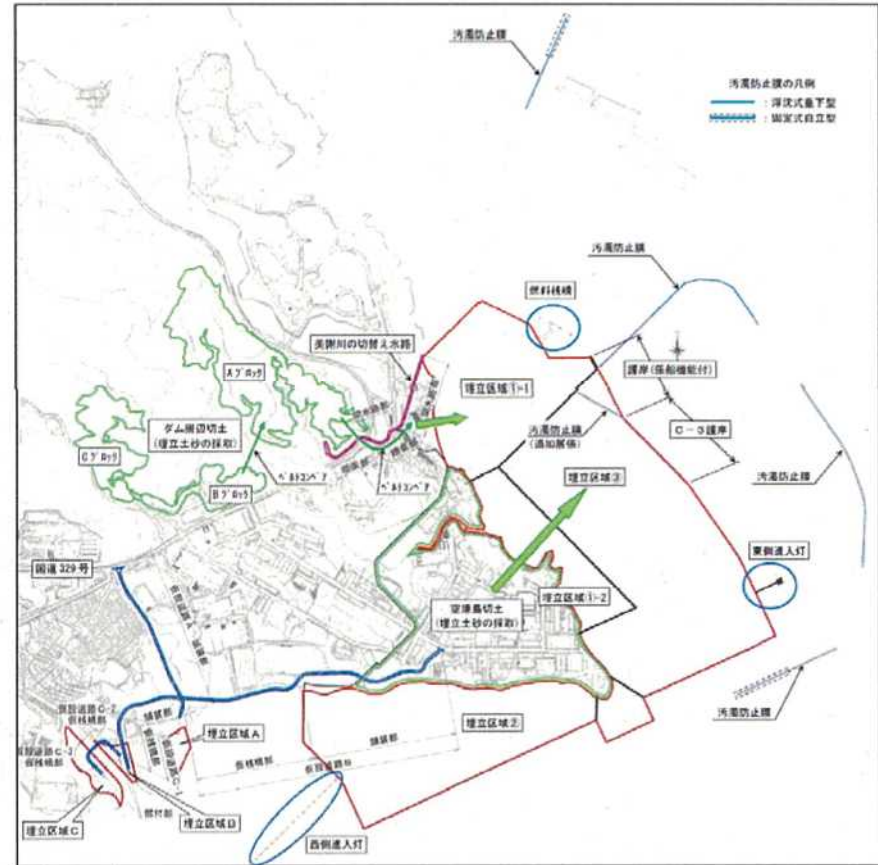


埋立進捗状況図(4年次12ヶ月目)

# 1. 普天間飛行場代替施設建設事業の概要(10)



埋立進捗状況図(完成時)



付帯工事の施行位置図

# 1. 普天間飛行場代替施設建設事業の概要(11)

## 【埋立に用いる土砂等の種類】

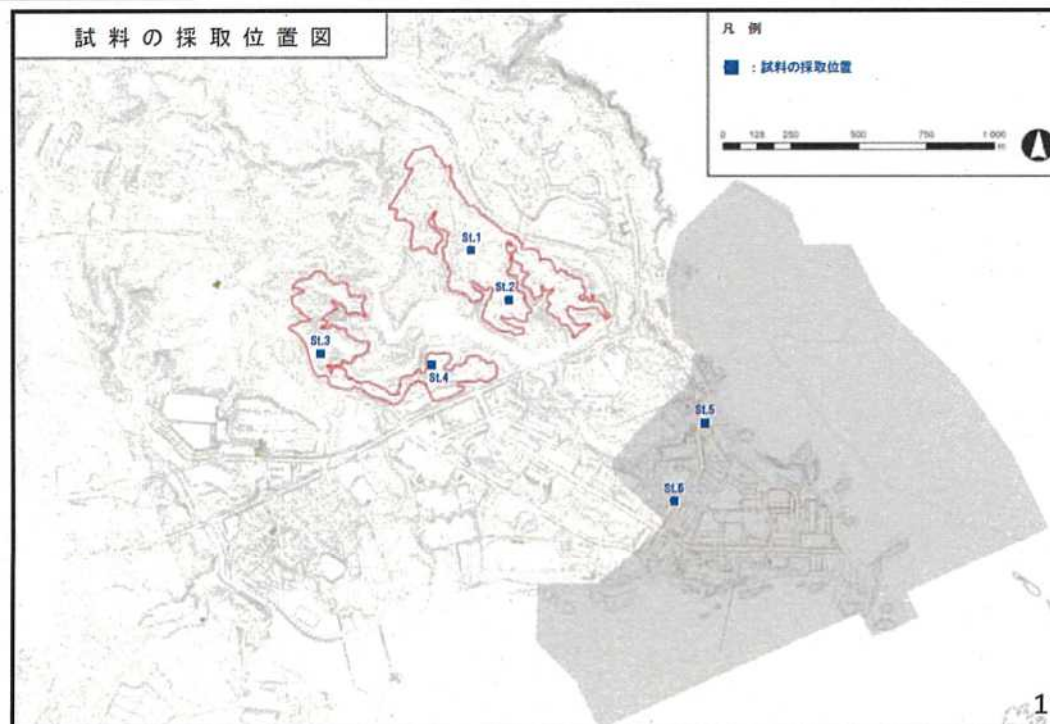
### ▼埋立に用いる土砂等の種類及び性状

種類	性状	採取場所
海砂	有害物質を含まない土砂。 (※1の判定基準を満たすもの) 市販されている海砂を用いることとし、土砂の性状の確認は購入時に行うものとする。	沖縄島周辺から購入
岩ズリ	有害物質を含まない土砂。 (※2の環境基準を満たすもの) 市販されている岩ズリを用いることとし、土砂の性状の確認は購入時に行うものとする。	沖縄島、九州、瀬戸内周辺から購入
山土	有害物質を含まない土砂。 (※2の環境基準を満たすもの) 当該土砂の試料の採取位置図及び分析試験結果をそれぞれ示す。	キャンプシュワブ既存陸上部の整地及び辺野古ダム周辺から採取

※1) 埋立場所に排出しようとする水底土砂に係る判定基準

※2) 土壌の汚染に係る環境基準

### ▼試料(山土)の採取位置図



# 1. 普天間飛行場代替施設建設事業の概要(12)

## 【埋立土砂等の種類及び採取量】

### ▼埋立土砂等の種類及び採取量

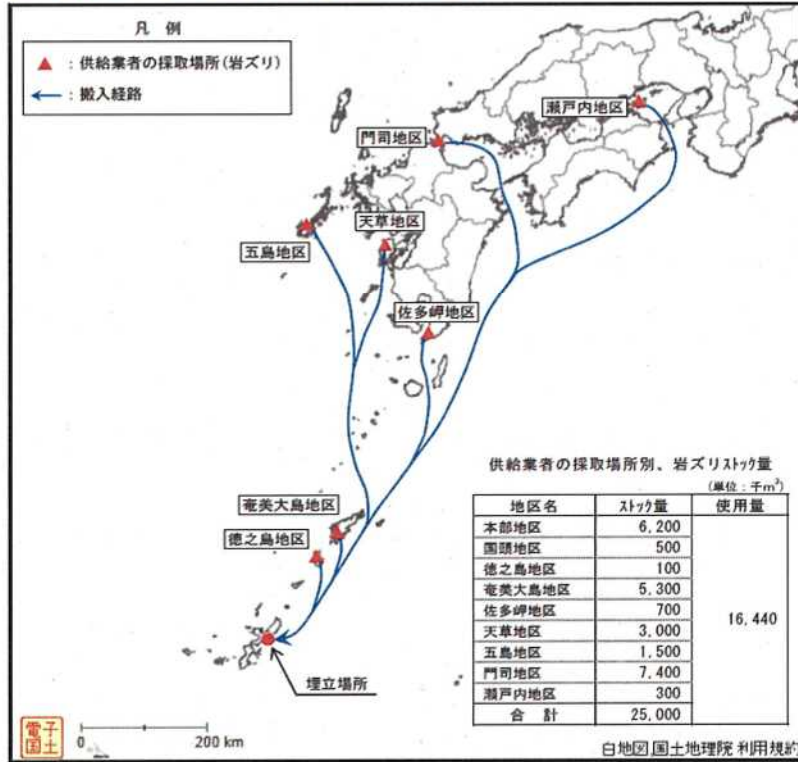
埋立土砂等の種類	採取量	採取場所
海砂	約580千m <sup>3</sup>	沖縄島周辺から購入する
岩ズリ	約16,440千m <sup>3</sup>	沖縄島、九州、瀬戸内周辺から購入する
山土	約3,600千m <sup>3</sup>	キャンプ・シュワブ既存陸上部の整地及び辺野古ダム周辺から採取する
合計	約20,620千m <sup>3</sup>	

### ▼埋立区域別埋立土量

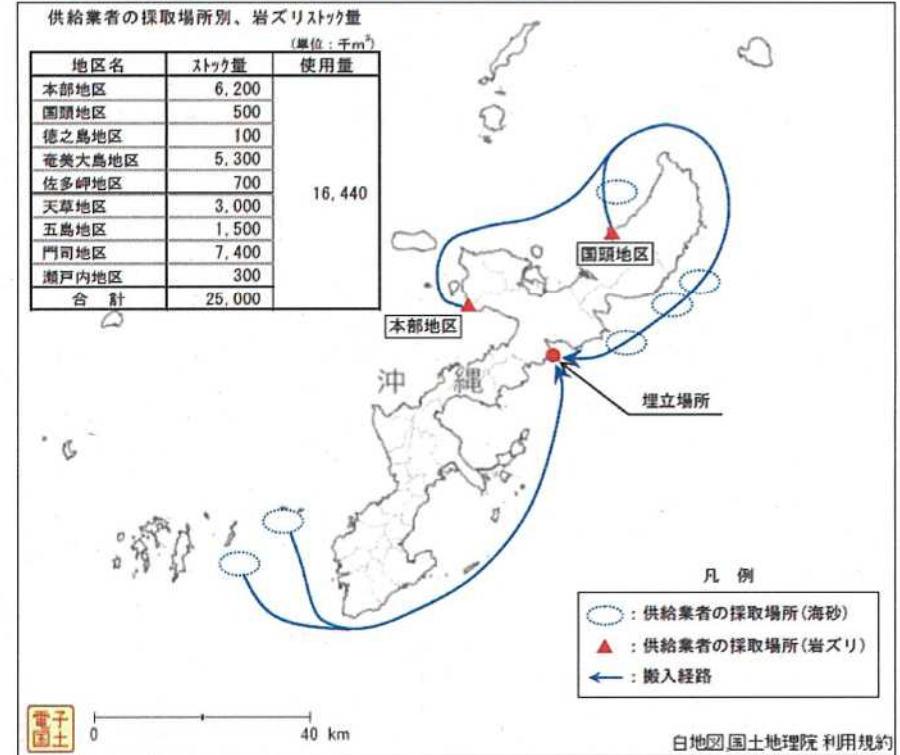
埋立区域		埋立土砂等の種類			合計
		海砂	岩ズリ	山土	
普天間飛行場 代替施設	埋立区域①	-	1,670	2,410	4,080
	埋立区域②	-	3,190	-	3,190
	埋立区域③	580	11,410	1,190	13,180
	小計	580	16,270	3,600	20,450
名護市辺野古 地区地先	埋立区域A	-	53	-	53
	埋立区域B	-	32	-	32
	埋立区域C	-	85	-	85
	小計	-	170	-	170
合計		580	16,440	3,600	20,620

# 1. 普天間飛行場代替施設建設事業の概要(13)

## ▼【県外】岩ズリの運搬経路

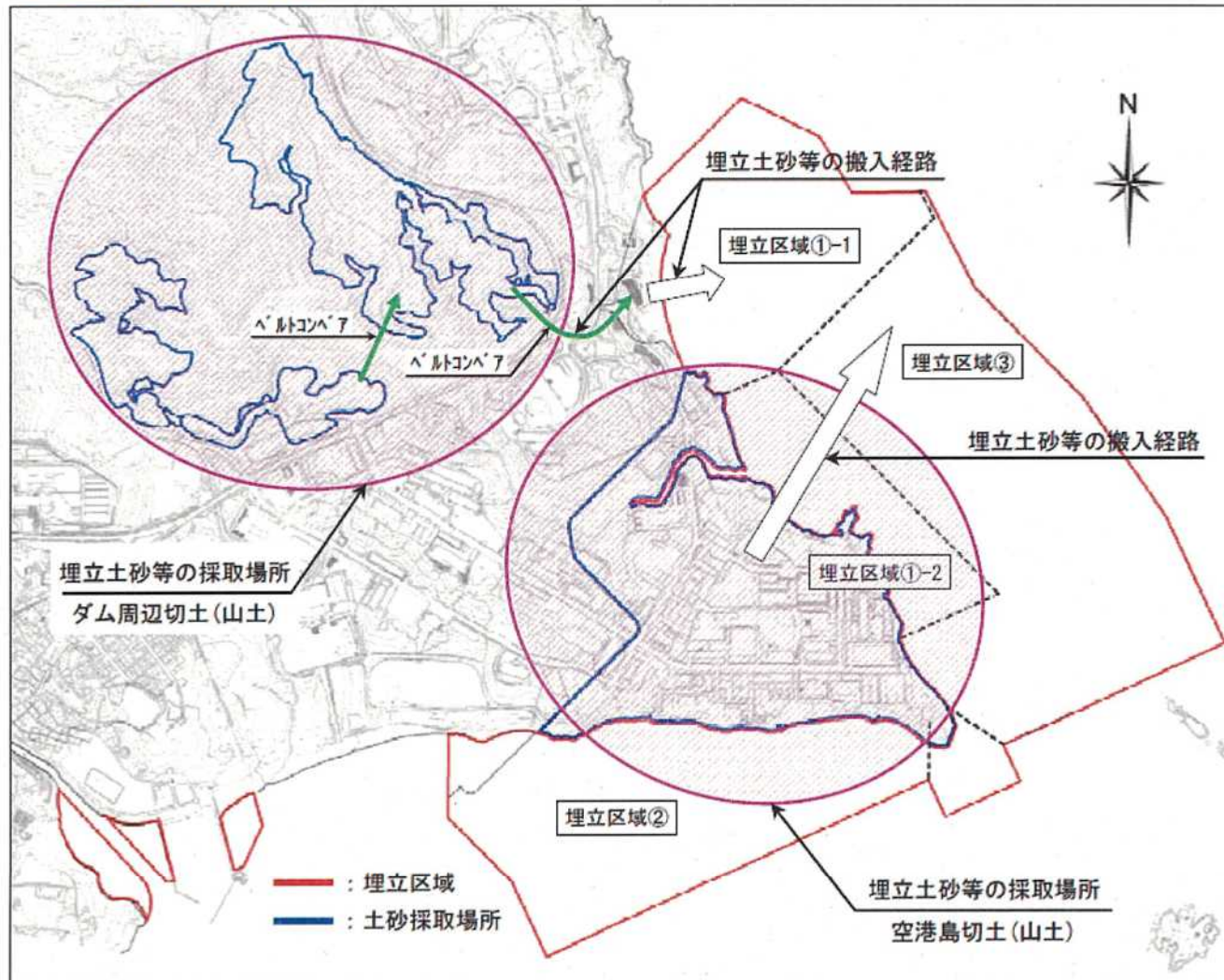


## ▼【県内】岩ズリ・海砂の運搬経路

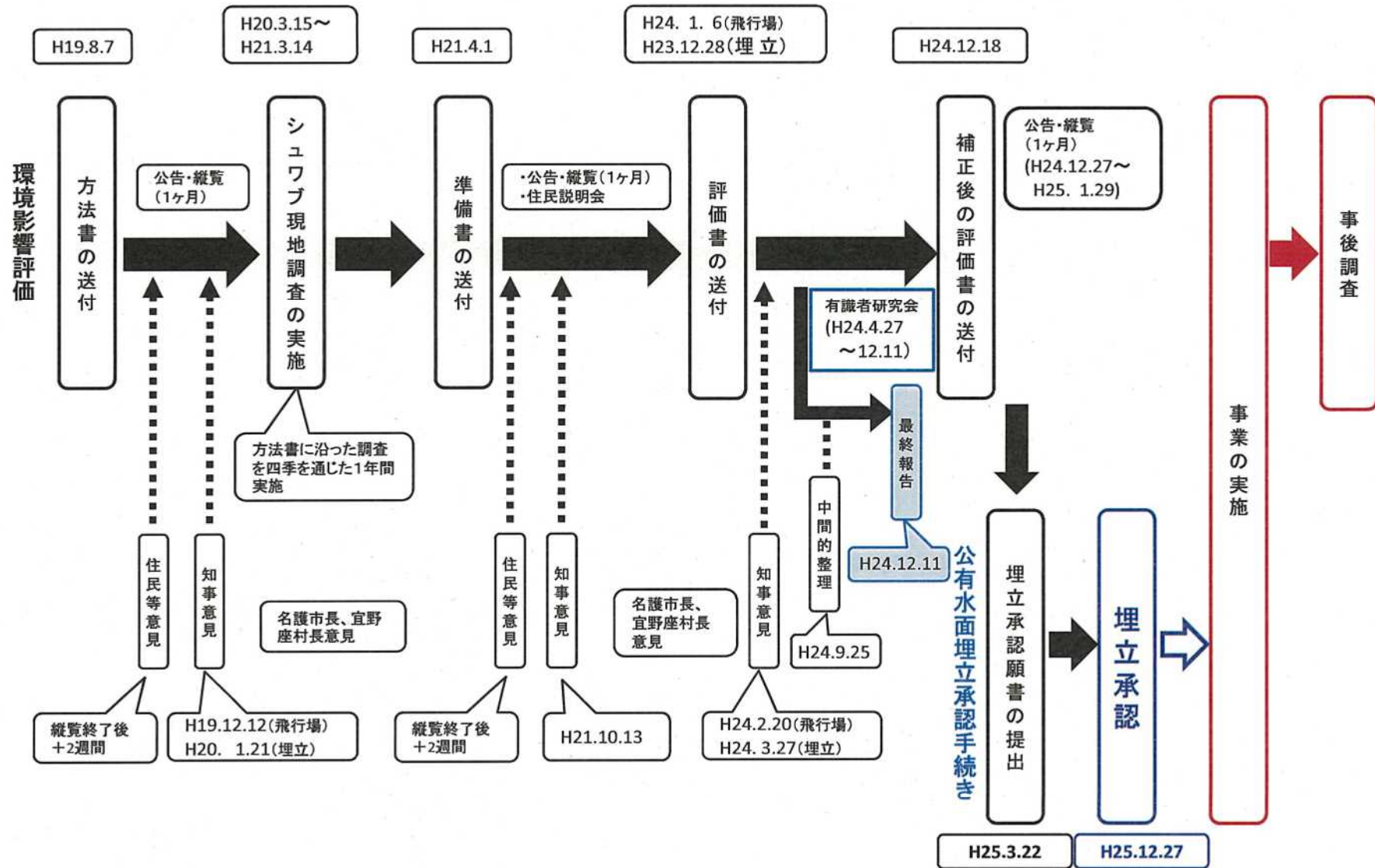


# 1. 普天間飛行場代替施設建設事業の概要(14)

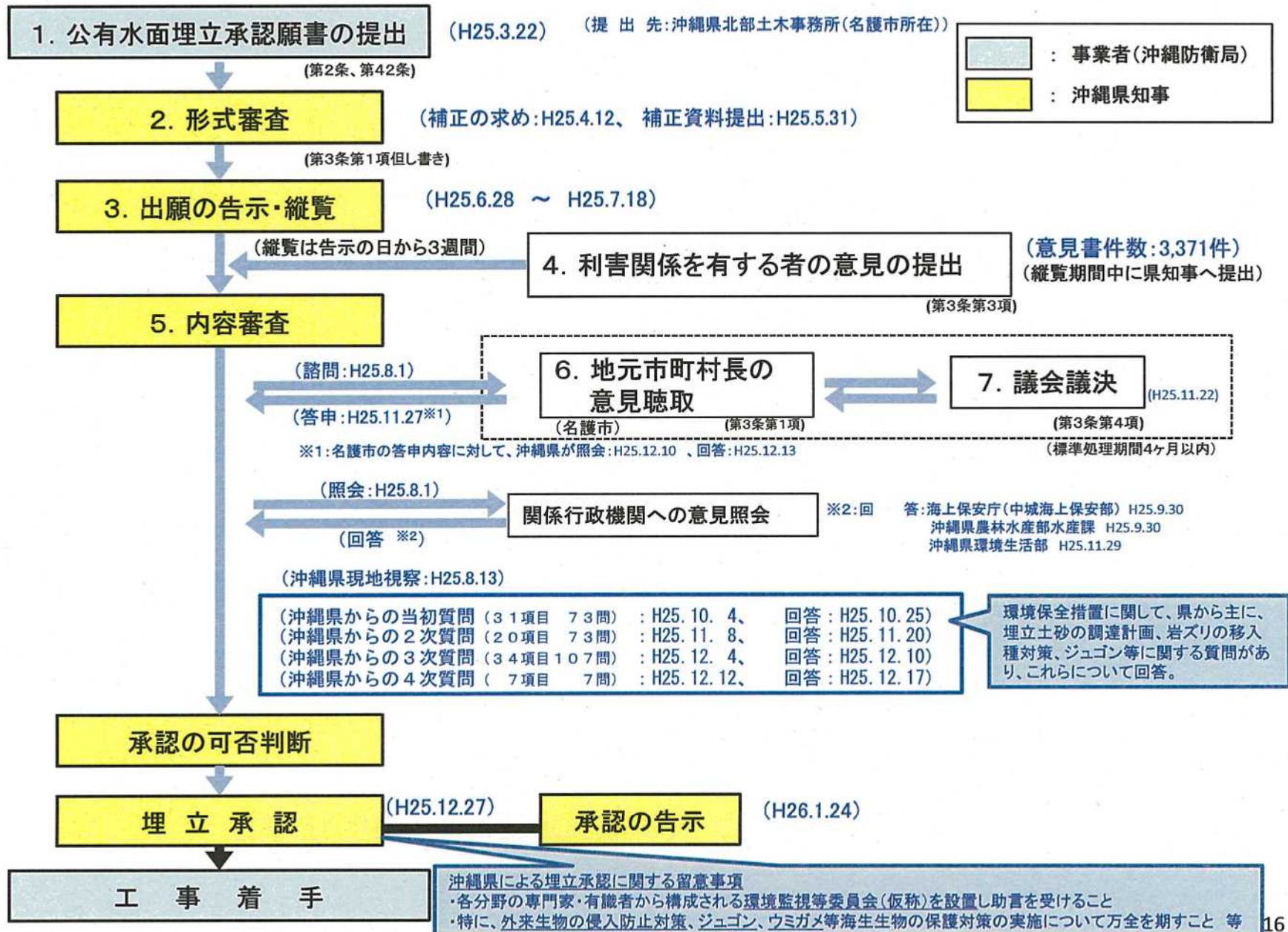
## ▼山土の運搬経路



## 2. 環境影響評価手続きの経緯



### 3. 公有水面埋立承認手続きの経緯



## 4. 公有水面埋立承認願書に係る沖縄県からの質問と回答

沖縄県(土木建築部海岸防災課、農林水産部漁港漁場課)は沖縄防衛局に対して、埋立承認願書の内容等について、「より詳細に確認すべき事項がある」として、4回にわたり質問書を送付。当局は全ての質問に回答。

① 当初質問(計 31項目 73問) 質問 H25.10.4、回答 H25.10.25

【環境保全に関わる主な質問内容】

埋立土砂の調達計画、埋立土砂の移入種対策、海砂採取予定区域・運搬ルートとジュゴンの行動範囲、平成24年度ジュゴン現況調査結果(辺野古沿岸で食跡確認)等

② 2次質問(計 20項目 73問) 質問 H25.11.8、回答 H25.11.20

【環境保全に関わる主な質問内容】

埋立土砂の調達計画(岩ズリのストック量)、埋立土砂の移入種対策(現地調査の実施主体等)、平成24年度ウミガメ類現況調査結果(辺野古沿岸で確認)等

③ 3次質問(計 34項目107問) 質問 H25.12.4、回答 H25.12.10

【環境保全に関わる主な質問内容等】

・下記意見に対する見解を要求

沖縄県環境生活部意見: 18項目48問(環境保全施策との整合性、ジュゴン、移入種対策ほか 環境分野全般)  
名護市長意見 : 4項目31問(オスプレイ騒音ほか 環境分野全般)

・3次質問 : 12項目28問

空港島切り土工事中の赤土等流出防止、特定外来生物アルゼンチンアリに関する対策 他

④ 4次質問(計 7項目 7問) 質問 H25.12.12、回答 H25.12.17

【環境保全に関わる質問内容】

供用後の環境保全対策(航空機騒音)、塩害、土壌汚染、埋立てによる生活環境への影響(人と自然との触れ合いの活動の場)

## 5. 公有水面埋立てに関する承認書の留意事項

平成25年12月27日 沖縄県知事による埋立承認。承認にあたり、以下の事項に留意することを求められている。

### 留意事項

#### 1. 工事の施工について

工事の実施設計について事前に県と協議を行うこと。

#### 2. 工事中の環境保全対策等について

実施設計に基づき環境保全対策、環境監視調査及び事後調査などについて詳細検討し県と協議を行うこと。

なお、詳細検討及び対策等の実施にあたっては、各分野の専門家・有識者から構成される環境監視等委員会(仮称)を設置し助言を受けるとともに、特に、外来生物の侵入防止対策、ジュゴン、ウミガメ等海生生物の保護対策の実施について万全を期すこと。

また、これらの実施状況について県及び関係市町村に報告すること。

#### 3. 供用後の環境保全対策等について

事業者である国は、米国政府と環境に関する特別な取決めを締結するなど実効性のある方法により、米軍基地から派生する環境問題の未然防止と米軍基地周辺地域の生活環境及び自然環境の保全について万全を期すこと。

また、併せて、国、県、関係市町村等を構成員とする協議会等を設置し、以下の事項を実施すること。

- ・本施設の供用に伴い米軍等が実施する環境保全対策の実施状況を定期的に把握する。
- ・本施設の供用に伴い航空機騒音や低周波音など環境保全上の問題等が生じ又は生じるおそれがある場合に改善対策を米軍と協議する。

#### 4. 添付図書の変更について

申請書の添付図書のうち、公有水面埋立法規則第3条第5号(埋立に用いる土砂等の採取場所及び採取量を記載した図書)、第7号(埋立地の用途及び利用計画の概要を表示した図面)及び第8号(環境保全に監視措置を記載した図書)を変更して実施する場合は、承認を受けること。

#### 5. その他

埋立工事を竣工したときは、公有水面埋立法第42条第2項の規定に基づき、県知事に通知すること。